

まちづくりは心から



福島市で国際交流フォーラム

本協会（松崎勉会長）や（県空調衛生工事業協会（矯正光会長）及び県管工事協同組合連合会（伊藤文夫会長）という本県の建築設備三団体で独自に企画された国際交流フォーラムが十二月二日、「パリア・フリー／人にやさしい住まいと設備」と題して福島市において開催され、県内在住となる外国人有識者約二十人（アメリカ、カナダ、オーストラリア）を囲んで、これからの都市・住宅設備、そしてボランティア活動の在り方などについて百十人程が参加して意見交換や交流を図った。国際的な視野に立ち本団体は社会参加を大々的に示した一日となった。

設備の三団体が地方から提言を

当初、（県空調衛生工事業協会（矯正光会長）の新春企画として始まった社会活動だったが、この趣旨に賛同する形で本協会と県管工事協同組合連合会が加わって建築設備業界全体としての催しへと進化発展してきたもの。

建設業界での国際化も進む中、広い視野にたった情報収集によって諸外国の考察や慣習を身近に捉え、建築設備に



上野氏



宗像氏



フレンドリートークで熱弁を振る松崎会長ら



小嶋氏



田畑氏

温もりある都市機能

ボランティアへの意識づけ

おける近未来を考えると、地方業界にとっても大きな課題となっていることから、これまでにも「各国の水と空気に関する設備と環境問題」や「国際家族年／住まいと設備」をテーマに掲げて県内在住の外国人有識者との意見交換を行ってきた。今回のテーマには出席者より多くの発言を求めたい考えから先ず、三グループに分かれて分科会として「人にやさしい都市機能」や「人にやさしいライフ・ワーキングスペース」、さらには「人にやさしいボランティア教育と意識」と題して話し合い（フレンドリートーク）を進め、そこで各グループより出た意見を吸い上げる形で全体会となるフォーラムに望む形態をとった。

当日出席者は、県内在住の外国人有識者（アメリカ、カナダ、オーストラリア）十二人、カナダのプリテンシユコロンビア州からの留学生で現在は福島大学で学んでいる留学生も参加したほか、県土木部都市局の宗像武久建築住宅課長や上野修繕課長、そして本協会の松崎勉会長や田畑光三建築設計協同組合理事長と小嶋裕一（県建築士事務所）がゲストとして招かれたほか、ロサン



フォーラム後のアトラクション

また、「人にやさしいボランティア活動」でフレンドリートークを進めたCグループからは、日本でも自立しないところで実際に活動している人は多く、意識そのものは決して低くないのではないかとした意見や、日本と外国ではボランティアに対する意識の違いがあるものの隣人愛の精神が発揮できるようなきっかけをつくるよう心掛けたいとの意見が多数だされたことが報告された。

ゲストから感想を聞いた後、吉川実行委員長は「人にやさしい住まいと設備は、潤い都市機能、この上に人にやさしいライフ・ワーキングスペースがあってボランティアが生まれる。やさしいまちづくりは、すなわち心の問題だ」と結びフォーラムを締めくくった。

電 設 新 聞

発行所
社団法人
福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
郵便番号 960
福島市松浪町9-6
(福島県電設協会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷 福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

電気設備
住宅設備機器
コーディネーター OKADA

岡田電気産業株式会社

本社：いわき市平谷川瀬字明治町二七
営業所：白河（二四六）二五六一
原町・相馬・福島東・福島・いわき南
勿来・他県外十二ヶ所

National 松下電工 盤革命。

ニュートラルスイッチは
JIS協約形の
1Pブレーカと体化。

これにより大幅な省施工を実現。
①VVfケーブルの股さきかわすかて済み、結線時間を約25%も短縮(当社比)。
②ケーブル束材が約1/2に減少(当社比)。掃除がらくて、資源のムダ使いも低減。
③結線時に面倒なブレーカとニュートラルスイッチの番号合わせがまったく不要。
④保守点検時の回路確認もスピーディー。
⑤ユニットラックから
⑥ツチスベールがいらず小型・軽量化も達成。タテ寸法で最大300mmもコンパクトに100A、40回路の場合。

さらに漏電保護付・漏電表示付は1Pサイズに100V。

省施工新標準
A&I
アロー盤

●商品のお問い合わせ・カタログのご請求は、〒963 福島県郡山市朝日2-5-15 松下電工・福島営業所 TEL(0249)39-7731 FAX(0249)39-4777

種苗生産システムを見学

ヒラメ栽培振興施設研修

当協会は十月二十七日、双葉郡大熊町に建設が進められているヒラメ栽培振興施設で現場研修会を実施し、県内各地から会員企業の技術者約八十人が参加、珍しい種苗生産システムを間近に見学した。この研修会は技術委員会の重点事業の一つで、その年の代表的建築物を研修し、最新の電気設備技術の修得に努めてきたもの。

このヒラメ栽培振興施設は、県が沿岸漁業の振興を図るため東京電力福島第一原子力発電所の温排水を利用して生産したヒラメ種苗を大量放出し、漁業者自らが三〇センチ未満小型魚の全面養殖を伴った栽培漁業を推進することを目的とするもので、平成六年



た。我々協会員は技術集団として良い技術をどんどん取り入れるべく努力したい」とあいさつしたに続き、県の相双建設事務所から出席した岩並治夫次長兼建築課長と松浦信幸専門建築技師兼管轄係長が施設の概要や工事経過を説明した。

このあと常盤電設産業と東京エレクトロの技術者が先導して現場に入り、各棟の設備や機械室等を中心に見学、その後質疑応答を行って導入されている設備の理解を深めた。

い」とあいさつした後、先頃労働大臣表彰を受けた安藤組らの受賞披露が行われた。

この後、渡辺県商工労働部次長と加藤福島雇用促進センター所長らが口々に「建設業の健全なる発展のためこの機会に雇用改善と福祉の増進に努めてほしい」と来賓祝辞を行った。

最後に、陰山建設管理部の佐藤嘉昭氏が「我が社の社会奉仕活動について」をテーマに事例発表を行った。

市場の国際化など業界をめぐる「新しい競争の時代」の到来は、パブル経済崩壊後の建設市場低迷という変化と共に今までの経営基盤の充実や人材育成・確保といった構造改善の努力を迫り行っている。この指摘、今後悪質な企業が跋扈する状況が生じることも危惧される」として建設業政策大綱が策定されたことを説明したほか、大綱では国民に對してトータルコストでより良いものをより安く提供し建設業が新しい競争の時代を乗り切るだけの力を養い、生涯を託せる産業へと進化していくといった三つの基本方針の下に成立していることを強調。

「どんな企業（技術・経営力などに優れた会社）に生き残ってほしいかを考察してほしい」と説いた。

労働条件向上へ 約250人が参加!

福島で雇用改善推進大会

十一月の雇用改善推進月間にならんで、福島建設業協会では毎年恒例となつて、福島県雇用改善推進大会が十七日に福島市土湯温泉町の建設労働者研修センター・サンスカイつちのけにおいて開かれ、本協会からも秋吉専務らが出席した。

今年で第十一回目を迎えるこの大会には雇用促進事業団

（ゆめ建設産業団体連合会、建設業退職金共済組合県支部）並びに東日本建設業保証福島支店らが協賛している。

この日は、渡辺大樹県商工労働部次長や加藤正喜雇用促進事業団福島雇用促進センター所長、五十嵐健一福島労働基準局専門監察官、そして建設省東北地方建設局の荒谷紀昭福島工務事務所所長ら来賓、会員合わせて約二百五十人が参加した。

この冒頭、志賀久太郎会長が「雇用改善をより一層推進していくためには人材の育成・定着を根幹に生涯を託せる魅力ある建設業づくりにより自助努力していかなければならぬ

望まれる企業とは

県と市町村の人札・契約業務担当者で構成している福島県公共工事契約業務連絡協議会（公契連）の研修会が十一月十六日に郡山市労働福祉会館において開かれ、経営事項審査の毎年受審を義務化させることやその審査基準、さらには建設業許可関連など改正された事項の確認を進めると共に、財団法人建設業振興基金の高橋俊雄構造改善第一部長を講師として迎え、「建設業の構造改善事業などについて」の説明を受けた（本協会からは事務局などが出席した）。

高橋氏はまず、九十年振りの人札契約制度の改革や建設

百五十人程が参加

建設者入札契約制度説明会

県建設技術研究会の主催で建設省の工事請負契約書説明会が十二月四日、福島市のサンプレス福島で行われ、（ゆめ建設産業団体連合会の会員ら約百五十人が受講した。当協会からは佐藤副会長と秋吉専務理事が参加した。

午後一時からの説明会で

は、研究会の志賀久太郎会長と建設省東北地方建設局総務部の新渡戸典孝会計システム管理官があいさつした後、同局の阿部純一契約課課長補佐、柴田秀明企画部技術審査官が、工事請負契約書の改正と新たな施行保証制度や新しい入札契約制度について改定された契約書や入札心得、随意契約見積り心得を使って説明した。

このうち工事請負契約書の改定では、十一月以降の国際化に対応して契約関係の明確化を図る新たな利口保証制度導入の観点から工事請負契約書として運用基準、入札心得が改定されたことが取り上げられ、契約関係では甲乙協議手続等について「工期又は請負代金額の変更などに関する甲乙協議について、協

議の開始日や期間、及び当該協議期間内に協議が調わなかった場合に発注者が決定することが規定されたこと

や、契約基本事項として「工事完成義務、代金支払い義務、守秘義務、請求等の書面主義、日本語・日本語の使用、日本法令への準拠等」が明文上規定された。また、期間に関する定めが明確化として「直ちに」等期間に関する定めが「〇日以内」に改められたことなどが説明されたほか、工事完成保証人を廃止し請負者の選択により請負代金額の十分の一を保証するにすれば契約の保証を付することも付け加え、新制度への移行スケジュールについても詳しく解説された。

阪神大震災レポート

技術委員会の被災地視察

本協会では、技術委員会の協定で、技術委員長（いわき支部・植田電機）、大槻電機技術副委員長（福島支部・大槻電機工業）、そして先崎元勝技術委員（郡山支部・東新電気工業）および佐藤修一（会津支部・会津電気工事）の四名が七月十三日から十五日にかけて、阪神・淡路大震災発生より六ヶ月を経過した被災地の視察研修を行った。

はじめに、技術委員長より今回の視察は総合電機メーカーである三菱電機（株）や大手電気工事会社の住友電設（株）ならびに協会会員と経営規模が同等クラスと思われる早水電機工業（株）などの三社に災害の際の状

況や救援対応、さらには設備の被害状態について教えてもらうことが主目的である」とを説明すると共に各社での訪問状況も報告された。

現地へ到着した十三日の午後より三菱電機（株）を訪ね、同社関西支社のビルシステム部においてビル用電源設備の不具合状況の調査事例などを、教授願う。その後被災地を視察しながら同社兵庫支店に向かい、そこでも説明を受け、災害の凄さや怖さを肌で感じた。

翌十四日は早朝より住友電設（株）本社を訪れ、スライドで被害状況や復旧対応などについて詳しく説明を受け、その父親が社長時代に周囲に呼び

社会のニーズに応え 省エネに貢献する..... **Aichi**

各種トランスの **受知電機**
高圧スイッチの **大垣電機**

(発売元) **受知電機商事(株)** 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇

株式会社 **三菱電機ライフテック東北**

福島支店 TEL(0245)34-7121
郡山支店 TEL(0249)59-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0211
会津支店 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

TAKAOKA

フル容量で、フルラインアップ

無停電電源装置 **クリーンUPS**
●クリーンUPS 3KV

■低損失形変圧器
■課電表示器
■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備

コンピュータシステムのニーズに応える

株式会社 高岳製作所
福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

Koito
安全と快適を求めて

安全への **トータルシステム**

- 道路情報表示システム
- 道路気象観測システム
- トンネル防災システム
- 交通管制システム
- 交通信号機
- 街路・広場・スポーツ照明

小糸工業株式会社
仙台支店 〒980 仙台市青葉区国分町2丁目2番5号(柴崎ビル) ☎022(225)7501

